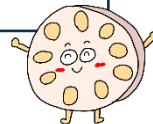




○経営方針 あいさつとありがとうで あったかい学校に

～ 子どもと向き合い、家庭に寄り添い、地域とともにある学校をめざして ～

【スローガン】「大好きな学校に・大好きな家庭に・大好きな地域に」



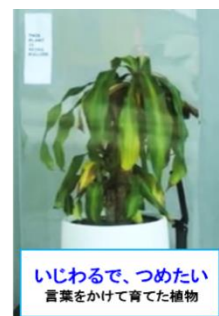
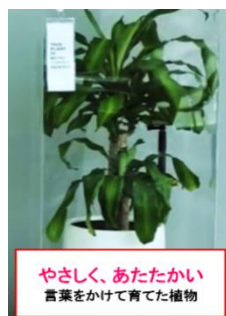
ほんのちょっとの一言で

暑さもようやく峠を越え、静かだった運動場に子どもたちの活気に満ちた声が響き渡るようになりました。外で嬉しそうに遊ぶ子どもたちを見ると、子どもの本分は、何と言っても外で遊ぶこととつくづく感じます。実りの秋に向けて、作物が熟していくように、子どもたちも勉強や運動、仲間との交流を通して、心も体も豊かに成長してほしいと願っています。

さて、9月に行われた人権教育参観日では、たくさんの保護者の方にご来校いただきありがとうございました。それぞれの学年・学級で、道德の題材をもとに、子どもたちの身近にある人権問題について考える授業を行いました。グローバル化やデジタル化の進展、性の多様化など、時代の変化とともに様々な人権問題が取り上げられるようになった昨今ですが、子どもたちには多数派であれ、少数派であれ、自分と違う他人を受け入れ、共存できる人になってほしいと思っています。

その一言 高橋系吾

その一言で 励まされ その一言で 夢を持ち
その一言で 腹を立て その一言で がっかりし
その一言で 泣かされる
ほんのわずかな一言が 不思議に大きな力(を)持つ
ほんの一寸(ちょっと)の一言で



先日、お昼の放送で「言霊」という言葉を取り上げて、「プラスのエネルギーを持つ言葉をたくさん遣いましょう」と子どもたちに呼びかけました。また、東西の階段にある掲示板にも、上記の写真を掲示し、言葉の大切さについて投げかけています。

ところで、私がこの詩を初めて目にしたのは、20年以上前のとある病院のロビーでした。心を打たれ書き留めた詩には、最後にこのような続きが書いてありました。

「声をかけよう 気にかけよう」「じっくり耳を かたむけよう」

いつ、誰が書き加えたのか分かりませんが、心にぐっと迫る重みのある言葉です。

9月の『陽だまり』



読み聞かせグループ「おはなしポケット」の皆さんが、金曜日の朝の学習時間を利用して、1～3年生の子どもたちに読み聞かせをしてくださっています。絵本や紙芝居を通して、本の世界に誘ってくれるひとときは、子どもたちにとって、楽しみで大切な時間になっています。